

「皇室と茶の湯」について講演 ～「寛永行幸四百年祭 寛永文化講座」を8月2日に開催～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、4月に開幕した「寛永行幸四百年祭」の機運醸成を目的とした様々なイベントを実施しています。
- 8月2日に「皇室と茶の湯」をテーマとし、寛永を転機に公家と茶の湯との関係を考える文化講座を開催しますので、周知と取材をお願いします。

1 日時

令和8年8月2日（日） 14時～15時30分（13時15分開場）

2 会場

ANA クラウンプラザホテル京都 2階 平安の間（京都市中京区堀川通二条城前）

3 内容

「皇室と茶の湯」

講師：依田 ^{よだ} 徹 ^{とおる} 氏（遠山記念館学芸課長）

4 参加方法

専用サイト（Peatix）から申込 ※定員になり次第受付終了

申込期間 令和8年6月27日（土）10時～8月1日（土）正午

URL：<https://kaneibunka20260802.peatix.com>



5 定員

先着 300 名（参加無料）

6 取材について

取材を希望される場合は、13時50分までに会場受付（2階）へお越しください。

7 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会

共催：一般社団法人 Living History KYOTO

協力：ANA クラウンプラザホテル京都

8 寛永行幸四百年祭の今後の主な予定

＜寛永行幸四百年祭記念式典・基調講演・能楽公演＞

9月5日（土）基調講演 講師：^{くまくらいさ お}熊倉功夫氏

9月6日（日）能楽公演 出演：^{こんごうたつのり}金剛龍謹（金剛流若宗家）

^{はやし き えもん}林喜右衛門（京観世林家）ほか

＜寛永行幸行列再現イベント＞

12月6日（日）

（次頁あり）

【参考】

○ 寛永行幸

寛永3年（1626年）9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○ 寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。

○ 文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071



第13回

皇室と茶の湯

講師 依田 徹氏（遠山記念館学芸課長）

寛永11（1634）年11月21日、後水尾上皇の住む京都仙洞御所において、茶会が催されました『鹿苑日録』。天正13（1585）年の秀吉による禁裏茶会、寛永3年の二条城行幸を経て、茶の湯は公家文化に入り込み、やがて宮中行事に組み込まれていきます。平安時代初頭の嵯峨天皇からの皇室と茶の湯の歴史を踏まえ、公家にとって茶とはどのようなものだったのかを考えます。

寛永行幸

寛永文化講座



依田 徹氏（遠山記念館学芸課長）

1977年、山梨県生まれ。遠山記念館学芸課長。東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻、博士後期課程修了。博士（美術）。専門は日本近代美術史、茶道史を専門とし、著書に『盆栽の誕生』（大修館書店、2014年）、『皇室と茶の湯』（淡交社、2019年）などがある。

2026年 8月2日（日）

14:00（開場13:15、終了予定15:30）

参加費：無 料

会場：ANAクラウンプラザホテル京都
京都市中京区堀川通二条城前（「二条城前」駅2番出口より徒歩約1分）

定員：300名程度（事前申込制）

申し込み先：Peatix 申し込みは、6月27日（土）午前10時より

<本イベントに関するお問い合わせ> 実行委員会事務局（京都府文化政策室）
info@kaneigyoko400.jp TEL.075-414-5140（土日祝除く 10:00～17:00）

お申し込みはこちら



寛永文化講座とは？

2026年は、寛永3（1626）年に後水尾天皇が二条城に行幸されてから400年の節目の年です。寛永時代は能、狂言、茶の湯といった文化が隆盛し、市の中にいくつもの“サロン”が形成されました。このサロンを舞台に文化が洗練され、多くの人々をひきつけ、現代へとつながることから「寛永は文化の故郷」といわれています。「寛永文化講座」は、この時代に花開いた文化の特質をさまざまなジャンルの専門家に語っていただき、多角的な視点から寛永文化の総合性や現代における意義を考えていこうというものです。



「寛永行幸四百年祭」を応援したい！

実行委員会では、寄付などを募集しています。
皆さんも歴史に参加しませんか。

詳細はこちら

基金で応援

京都文化交流コンベンションビューロー
「寛永 1626 基金」で
寄付を募集しています。

ふるさと納税で応援

京都府の
企業版ふるさと納税による
寄付を募集しています。

連携・関連事業で参加

「寛永」をテーマにした独自事業や関連行事を
実施していただける企業・団体を募集しています。
お問合せ：info@kaneigyoko400.jp



茶碗：『色絵金銀蔓文重茶碗』野々村仁清 江戸時代 重要文化財 MOA美術館蔵 絵：『二条城行幸図屏風』部分 江戸時代 京都市指定文化財 泉屋博古館蔵

主催 寛永行幸四百年祭実行委員会
<https://kaneigyoko400.jp/>
共催 一般社団法人Living History KYOTO
協力 ANAクラウンプラザホテル京都

最新情報は
公式HP・SNSで
チェック！



公式 HP



FACEBOOK



Instagram



X